



もろきた通信

佐賀市立諸富北小学校
学校だより No.1 1
令和6年12月12日(木)
校長 石田 亮子

学校教育目標 < 夢をもち ふるさとを大切に思う児童の育成 >

150周年記念事業 ありがとうございました

12月8日(日)、諸富北小学校創立150周年記念事業を開催いたしました。これまで、ご支援、ご協力いただきました来賓の皆様、地域の皆様、保護者の皆様、本当にありがとうございました。

第1部の式典から、多くの方にご参加いただきました。坂井市長様、丹宗教育長にもご挨拶いただきました。厳かな雰囲気の中にも、子どもたちの挨拶と歌声であたたかさを感じる式典となりました。多くの方にご支援をいただいたおかげで、記念品として、テント2張、体育館のグランドピアノのカバー、来客用スリッパのほか、子どもたちに必要な学習用品や体躯用品も購入させていただくことができます。本当にありがとうございました。

第2部の子どもたちのステージ発表では、一人ひとりの力が発揮されていました。元気いっぱいに諸富北小を紹介し、歌で未来へつなげてくれた1・2年生。体いっぱいに一生懸命表現する姿に心を打たれました。笑いあり驚きありの劇とクイズで諸富町や諸富北小の深い歴史を紹介してくれた3・4年生。友だちと協力しながら伸び伸びと表現する姿が心に響きました。真剣なまなざしで和太鼓を演奏し、150年をお祝いしてくれた5・6年生。友だちと心をつに了一系乱れぬ姿に、諸北のリーダーとしての誇りを感じました。この発表を諸富中学校音楽部のみなさんが、さらに盛り上げてくれました。ここで見る先輩の姿は、子どもたちにとって「あこがれ」となったことでしょう。最後に全校児童で歌った「ふるさと」。目頭を押さえる方々もいらっしゃいました。子どもたちの想いがたくさんつまった第2部となったのではないかと思います。

第3部の風船飛ばしは、お天気に恵まれました。この風船飛ばしの発端となった「34年前の風船のお話」のお二人(当時1年生だった中島様・ハ女市にお住まいの橋本様)も来てくださって、感動的な時間となりました。地域にお住まいの山領様のご厚意により、ヒヤもあげていただきました。本当にありがとうございました。大空に舞い上がる色とりどりの風船と、子どもたちの歓声、諸中音楽部の演奏、山領様が上げてくださったヒヤがふるさと諸富を包み込み、それは美しく、一生忘れられない風景となりました。

第4部は、佐賀出身のシンガーShinoe(しのえ)さんによる記念コンサートでした。子どもたちや会場を巻き込んだ華やかなコンサートとなりました。特に、Shinoeさんのピアノ伴奏と一緒に歌ったHappy Christmas(War is over)は、参加してくださった保護者、地域の皆様の胸を熱くしたようです。リハーサルから本番までの時間をつなぐための予定になかったダンスの練習は、6年生がリードして行われ、それもまた楽しいひとときでした。Shinoeさんからは、「子どもたちの素直さ、純粋さ、元気さに心から感動していました。気を抜くと泣いて歌えなくなると思って、気を引き締めていました。」との言葉をいただきました。最後に子どもたちが歌った「ふるさと」は、「エールズ」にも上げています。ある保護者の方があたたかく編集してくださっています。是非ご覧ください。



【クラウドファンディング yellz(エールズ)】

支援金受付だけでなく、活動の様子もご覧いただけます。



夢をのせた風船・・・笑顔の花を咲かせています

第3部の飛ばした風船。実は、すでに熊本市と宮崎市にお住まいの方から「届きました。」とのお電話をいただきました。熊本市の方は、飛ばした日の15:00頃、散歩中に見つけられたとのこと。また、宮崎市の方からは、「山に囲まれたミカン畑の端の方で見つけた。孫と同じ名前だったので、ご縁だと思い、電話しました。」ということでした。

風船にまつわる物語が、また新たに始まりそうです・・・。



計画委員会による第2部オープニング



低学年「もろきたしょうを しょうかいします!」



中学年「あなたに教えたい!諸富町ってこんな町」



高学年「和太鼓演奏『飛翔』
～ふるさとから夢に向かって～」



第4部 Shinoeさんとコンサート



第3部 風船飛ばし